

(様式6-2)

研修派遣 精算書

令和7年5月19日

三田市議会議員 福田 秀章 様

本会派(私)は、研修派遣(参加)に要した費用の精算結果を下記のとおり報告します。

会派名	市民とともに	代表者	
		議員名	山崎 丈
参加者氏名	橋本 維文、大西 健司、山崎 丈		
研修先	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)		
講演会等 研修名	市町村議会議員研修(3日間コース)		
研修事項	「新人議員のための地方自治の基本」第1回		
日時	令和7年5月7日(水)~5月9日(金)		
支払金内訳	科目	支出額	摘要
	参加負担金	√ 3,900	研修費(@1300)×3
	宿泊料	√ 2,300	研修生活活動費
	日当		
	鉄道賃 (モレール)	√ 3,280	1640×2(往復)(JR 三田-唐崎間)
	航空賃		
	バス賃		
	船賃		
	タクシー		
	その他	√ 440	振込手数料
合計	9,920		
備考			

※100 km未満の距離における特急利用、タクシー利用の理由は備考欄に記入  
会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

(様式6-3)

研修等 報告書

令和7年5月19日

三田市議会議長 福田 秀章 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民とともに	代表者	
		議員名	山崎 丈
参加者氏名	山崎 丈		
講演会等研修名	市町村議会議員研修 (3日間コース)		
研修事項	「 <u>新人議員のための地方自治の基本</u> 」第1回		
日 時	令和7年5月7日 (水) ~ 5月9日 (金)		
場 所	全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市唐崎2-1-3-1)		
所 見 (別紙でも可)	別紙の通り		
添付資料			

添付書類 (講演会内容のパンフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名 (無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

(別紙)

報告者:市民とともに 山崎 丈

【講義1】 地方自治制度の基本について

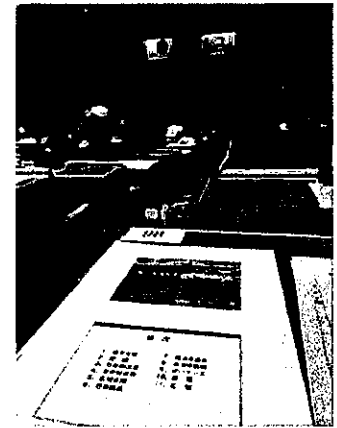
同志社大学 政策学部 大学院総合政策科学研究科 教授 野田 遊 氏

1地方分権 2財政 3行財政改革 4市町村合併 5広域連携  
6行政編成 7自治体議会 8自治体組織 9ガバナンス 10 政策 11 広報

市町村合併を推進してこられた講師先生だけに、県と市の行政編成、広域連携することで、財政効率向上効果が高いことを、ごみ処理などの事例で説明された。三田の場合、単独でゴミ処理施設建設するが、過去において、他市との連携は考えられたのか確認していきたい。

また、技術職などの人的資源については、基礎自治体(兵庫県・神戸市)が広域自治体(三田市)に派遣するなどしていく制度作りを考えていきたい。

さらに、ガバナンスの中で、「公」について、市民はお客ではなく、民主的決定に参加を促す主体であるとの基本的考え方を教えていただいた。参加に必要な情報を、継続的に広報する必要性があることがよく分かった。



【講義 2】 地方議会制度について

全国市議会議長会 企画議事部 副部長 篠田 光洋氏

0はじめに(地方議会・議員に求められているもの) 1地方議会の権限 2地方議員の権利  
3地方議員の義務 4議員の発言と法的責任等 5議員の兼職・兼業の禁止  
6 本会議の運営 7 委員会の運営

まず、最初に「研修に参加した議員が多い議会の質は高い」と話された。三田からは今回新人議員 4 人の参加なので、議会の質の向上に向けていい傾向だと感じた。また、これまで 2 回の議会(12 月、3 月議会)を経験してきたので、一連の流れに沿った経験から議員の役割を改めて確認していった。特に、委員会でのパネル提示で「許可を得ないで掲示した」ミスをしたことに関連して、議長や委員長の許可を得ることの大切さを再確認した。

【交流会】 夕食を兼ねて、ともに学が受講者同士の親睦(情報交換・交流)

愛知県岡崎市議会	加藤 史朗 議員 (前回の研修にも参加)
福岡県古賀市議会	秋吉 ともき 議員 (三田市ゆりのき台出身)
岡山県勝央町議会	下山 静之 議員 (元教員)

上記三人の議員とは特に深く交流ができた。それぞれの議員になるまでの過程、現在の活動状況を、インスタグラムなどを使って説明を受けた。とても良い関係が築けた。

しかし、議員の中には、私の沖縄研修の記事から、沖縄・アイヌ・朝鮮人などに対して差別発言をする議員もあり、大変驚いた。これまで三田で受けてきた人権研修を活かして、丁寧に説明をしたが、お酒が入っている席でもあり、注意喚起にとどめた。JIAM の最終アンケートには、事案の概略と議員の人権研修の必要性を書いて提出しました。

### 【講義3】 地方議会と自治体財政

武庫川女子大学経営学部 教授 金崎 健太郎 氏

地方財政制度のポイント(地方交付税の算定方法など)  
自治体予算の基本(予算案のチェックポイントなど)

まず最初に講師から、「地方財政は、日本という大きな一つの船に1718市町村、47都道府県が乗っている。一つ一つの地方団体が困らないように裏づけされた財政的対策が取られている」と話された。その最低限の保証になるものが、「地方交付税」になる。また、同じ借金でも、住宅ローンのような「地方債」とカードローンのような「臨時財政対策債」の使い分けを、三田市においても注意深く見ていきたい。

### 【講義4】 条例と政策の審査・立案

元衆議院法制局参事 吉田 利宏 氏

- 1なぜ、議会からの政策立案が必要か
- 2政策立案のスキルアップ
- 3条例の典型的な規定

典型的な条例の規定(前文・総則・実体的規定・雑則・罰則)について学ぶことができた。議員提案条例を作ることが、議会の存在意味につながり、最終的に市民のお役に立つことがよく分かった。

### 【演習1】 条例立案に関するグループ演習

元衆議院法制局参事 吉田 利宏 氏

グループ」メンバー

北海道白老町 前田 弘幹 議員  
長野県千曲市 堀内 太一 議員  
兵庫県三田市 山崎 丈

埼玉県深谷市 繫 由香 議員  
大阪府太子町 濱地 知英 議員

グループに分かれ、条例に関する課題の討議、条例立案「逆さ動物群の保護に関する条例案」を手段・目的・究極の目的に分けて作成し、講師に講評していただきました。

### 【講義5】 これからの地方議員に期待されていること

慶應義塾大学法学部政治学科 教授 谷口 尚子 氏

多様な人材の地方議会への参画促進  
我が国における地方議会のデジタル化

地方の課題が多様化・複雑化している近年、地方議員が住民の期待と信頼に応えるためには、地方自治の仕組みや議会の役割、自治体の実情への理解のほか、議員自身のさらなる資質の向上が求められることがよく分かった。

### 【まとめ】

全国から132名(平均年齢52歳)の新人議員が集まったの研修は、中身はもちろん情報交流の面からも大変有意義でした。理解すべき地方自治に関する諸制度や基本的事項については、これからも何度も、実際の場において出てくることなので、繰り返し研修に参加するなど勉強していきたい。さらに、今回参加した新人議員とのつながりを活かして、他の市町の情報交換から、議員の質を高め、今後の議員活動に活かしていきたい。

